

# 平成28年度 第1回 水戸市観光審議会

日時 平成29年2月28日(火) 午前10時  
場所 茨城県三の丸庁舎 3階 会議室A

## 次 第

### 開 会

- 1 あいさつ
- 2 議事
  - (1) 先導プロジェクトの進捗状況について
  - (2) インバウンド観光の推進について
  - (3) その他

### 閉 会



## 1 「水戸市観光基本計画（第3次）」について

### （1）目的

本市の観光行政は、平成17年度に観光振興の指針となる「水戸市新観光基本計画」を策定し、各施策を展開してきた。しかしながら、多様化する観光客のニーズや交通体系の変化等により、より魅力ある個性に富んだ観光施策を推進する必要がある。

このことから、水戸市第6次総合計画などとの整合性を図りながら、新たな観光基本計画を策定し、観光振興の指針とする。

### （2）内容

#### ①本編

##### 第1章 計画策定の基本的事項（P1～2）

計画策定の趣旨、期間等基本事項

##### 第2章 現況と課題（P3～29）

基礎調査の結果から、本市の現状、ニーズ等の把握や分析

##### 第3章 計画の基本的方向（P30～34）

本計画の基本的姿勢や目標値、基本戦略の設定

##### 第4章 施策の展開（P35～71）

柱となる3つの基本戦略について

##### 第5章 先導プロジェクト（P72～85）

個性、魅力を高める優先プロジェクトについて

##### 第6章 推進体制と進行管理（P86～89）

各推進主体の役割や進行管理について

##### 附属資料（P89～117）

### （3）進行管理（P87）

水戸市観光審議会を事業検討、調整の場として位置付け、より効果的な進行管理を行っていく。また、先導プロジェクトについては、毎年、水戸市が進捗状況を確認するとともに水戸市観光審議会の意見を参考に事業内容を柔軟に見直していく。

## 2 先導プロジェクトの進捗状況について

平成 27 年 3 月に策定された本計画の目標である「観光交流人口年間 450 万人（平成 35 年度）」達成に向け、先導プロジェクトを中心に、庁内各課・関係機関と連携し事業を展開している。

### (1) 観光基本計画の目標値

指標	目標設定時(平成 24 年度)	現況(平成 27 年)	目標値(平成 35 年度)
観光交流人口(年間)	3,144,400 人	3,674,000 人	4,500,000 人

### (2) 先導プロジェクト(水戸市観光基本計画(第 3 次) P72~)

平成 35 年度の観光交流人口年間 450 万人を達成するための先導的な事業として、以下 5 つを先導プロジェクトとして設定。本市の特色的な取り組みとして、個性と魅力を高めるという視点から優先的に進める事業。

#### ①歴史観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (平成 24 年度)	現況(平成 27 年度)	目標値 (平成 35 年度)
弘道館入込観光客数(年間)	48,000 人	80,506 人	150,000 人

##### ※取組実績

##### <弘道館・水戸城跡周辺の魅力づくりの推進>

水戸城跡周辺地区の白壁整備、大手門復元に向けた事業展開、「夜・梅・祭」の弘道館開催 等

##### <偕楽園と弘道館、水戸城跡周辺をつなげた魅力づくりの推進>

弘道館・偕楽園の日本遺産認定、梅まつり期間中におけるボンネットバスの運行、大河ドラマ(光圀伝)誘致活動の強化 等

#### ②スポーツ・文化観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (平成 24 年度)	現況(平成 27 年度)	目標値 (平成 35 年度)
コンベンション誘致数 (年間)	4 件(誘致) 3 件(自主事業)	3 件(誘致) 8 件(自主事業)	20 件(誘致) 5 件(自主事業)
市内年間宿泊客数	451,616 人	380,787 人	680,000 人

##### ※取組実績

##### <コンベンション誘致活動の推進>

水戸黄門漫遊マラソンの開催、水戸のラーメンまつりの開催 等

##### <コンベンション受入体制の充実>

水戸市新体育館整備構想の策定、東町運動公園体育館の起工、コンベンション開催助成制度の充実 等

##### <水戸芸術館・新たな市民会館を中心とした文化まちづくりの推進>

「第 40 回世界オセロ選手権大会」(2016 水戸のオセロウィーク)の開催、「エンジン 01 文化戦略会議」の開催 等

### ③自然観光まちづくり推進プロジェクト

指標	目標設定時 (平成 24 年度)	現況 (平成 27 年度)	目標値 (平成 35 年度)
偕楽園 (本園) 年間入込観光客数	949,000 人	995,347 人	1,200,000 人

#### ※取組実績

##### <水戸の花絵巻事業の推進>

各季節ごとに偕楽園や花の名所を周遊する漫遊バスの運行，七ツ洞公園公式ホームページの開設・イングリッシュローズフェアの開催 等

##### <観光果樹園や水辺空間を活用した魅力づくりの推進>

田んぼアートの実施，森林公園における各種体験イベントの開催 等

### ④インバウンド観光 (国際観光) 推進プロジェクト

指標	目標設定時 (平成 24 年度)	現況	目標値 (平成 35 年度)
外国人の 入込観光客数 (年間)	—	— [235,000 人 (平成 27 年茨城県)]	100,000 人

#### ※次項参照

### ⑤市民おもてなし運動推進プロジェクト

指標	目標設定時 (平成 24 年度)	現況	目標値 (平成 35 年度)
優良タクシー乗務員 認定人数	22 人	37 人 (平成 28 年 12 月現在)	100 人
おもてなしマイスター 認定人数	0 人	70 人 (平成 28 年 2 月現在)	200 人
新たな土産品の 開発品数	—	9 品 (平成 27 年度まで)	20 品

#### ※取組実績

##### <おもてなし力の向上>

おもてなしマイスター制度の創設，おもてなしセミナー，各種講座の開催・案内，学生ボランティアのイベント参加 等

##### <戦略的観光PR活動の推進>

水戸市マスコットキャラクター「みとちゃん」やSNSを活用したPR，交通アクセスを考慮した首都圏主要部へのキャンペーンの実施 (品川駅，守谷SA等)，水戸市CMの制作・放送 等

##### <観光産業の育成・強化>

納豆やMITO産ワイン等の各種物産展への出品・PR，水戸の梅産地づくり事業の推進，地酒で乾杯イベントや新酒まつりの開催 等

### 3 インバウンド観光の推進について

東アジアをはじめとした海外からの観光客誘致に向け、各種メディアを活用した観光プロモーションやホームページ及び観光パンフレット等の各種媒体の多言語化に取り組むなど、海外への戦略的な情報発信の強化に努める。あわせて、観光施設等における外国語表記の促進や Wi-Fi 環境の整備を進めるとともに、市民のおもてなし意識を醸成するなど、受入体制の充実を図る。

#### (1) 平成 28 年度実施事業

##### ①受入体制の充実

###### ○多言語対応観光案内板の整備

水戸駅周辺の観光案内板の多言語化を実施した。

###### ○AETによる黄門まつり体験

市内在住の AET による、神輿・武道体験を行い、アンケートによる調査を実施した。

###### ○在日台湾人によるパンフレット作成

北関東 4 市連携（前橋、宇都宮、高崎）事業として、各市内在住台湾人による取材を実施し、パンフレットの作成している。

###### ○おもてなし会話集の配布

宿泊施設、飲食店、タクシーにおける外国人観光客への対応のため、指差しで会話が可能なシートを配布している。

###### ○インバウンド観光シンポジウムの開催

事業者・市民と一体となった外国人観光客の受け入れに向けた機運の醸成を図るため、基調講演やパネルディスカッションを実施する。（3月2日（木））

###### ○外国語観光情報誌の作成

本市の魅力・情報を発信するとともに、市内観光スポットの回遊性の向上を図るため、水戸市観光案内（英語：5,000部 繁体字、簡体字、韓国語：2,000部）の増刷、外国語版るるぶ（英語、繁体字、簡体字：5,000部）を作成している。

##### ②プロモーション

###### ○海外旅行博への参加、海外旅行会社への商談

海外旅行博への参加、海外現地旅行会社への訪問により直接的なPRを実施した。

※台湾（台北、台中、台南、高雄） 中国（北京、上海、深セン）

###### ○外国人向け観光PR映像の作成、プロモーション

外国人向け観光PR映像（英・中・韓等言語）を作成し、活用している。

台湾での人気旅行サイトへの記事掲載の実施。

###### ○特設サイト、SNSの開設

本市の基礎情報や魅力を紹介する特設サイト（英語・中国語（簡体字、繁体字）韓国語）を開設した。

繁体字版 Facebook を開設し・運用している。

###### ○海外 web サイトへの広告・記事掲載

作成した動画を web 広告として掲載し、拡散を図るとともに、特設サイトへの誘因を図る。

###### ○在日台湾人によるモニターツアーの実施

外国人対応の課題整理のため、モニターツアーを実施した。

### ③マーケティング

#### ○外国人観光客マーケティング調査（調査中）

本市を訪れる訪日外国人の動態調査を行い、国籍や国内における移動ルート、市内での滞留エリアや時間等のデータを把握・分析し、的確なターゲット設定に活用する。

### ④その他

#### ○台南市との交流

海外都市交流の一つとして、飛虎將軍廟への訪問、海尾朝皇宮管理委員会（飛虎將軍廟御一行）の来水に対するおもてなし等を行った。

#### ○水戸版 DMO の形成に向けた取り組み（水戸観光協会）

- ・ DMO プロデューサー・コーディネーターの雇用
- ・ 観光関係者を集め、水戸の現状把握、方針を整理するための意見交換会を実施している。

## （2）基本計画におけるこれまでの進捗状況（水戸市観光基本計画 P80～）

### 【外国人観光客の受け入れ体制の充実】

- ・ 水戸観光案内所「JNTO 認定外国人観光案内所カテゴリーⅡ」認定（平成 27 年 12 月）
- ・ 市内観光案内板多言語化
- ・ 外国語版パンフレットの作成・増刷
- ・ 水戸観光案内所へのタブレットの導入
- ・ 市内主要スポット 6 カ所への Wi-Fi 設置
- ・ 市内飲食店・宿泊施設・タクシー等へのおもてなし会話集の配布
- ・ 各セミナー、補助制度の周知やセミナー、視察（県主催）への参加促進
- ・ イベントにおける外国語案内学生ボランティア参加
- ・ 市内在住外国人、台湾人留学生によるモニターツアー、視察の実施
- ・ 免税店舗拡大セミナー（県主催）等の案内 ※市内免税店舗数 53（平成 28 年 4 月現在）

### 【外国人観光客向けの観光メニューの充実】

- ・ 外国人対象の日本文化体験プログラムの充実のための協力依頼  
東武館（武道体験）、鈴木茂兵衛商店（ミニ提灯づくり）、亀印製菓（和菓子作り）
- ・ 水戸黄門まつりにおける A E T の神輿、武道体験への参加

### 【海外各国地域へのプロモーション】

- ・ 外国語版特設サイトの開設、多言語観光 DVD の作成・配布
- ・ 繁体字版 Facebook の開設・運用
- ・ 海外旅行博への参加（中国（深セン）台湾（台中））
- ・ 現地旅行会社への商談（台湾（台北，台中，台南，高雄），中国（北京，上海））
- ・ 県実施のファムトリップ、メディア招請事業への対応（みとちゃんによるお出迎え、PR グッズの配布等）

- ・茨城県上海事務所との連携（現地旅行会社(上海) への商談参加)
- ・台南市との交流（飛虎將軍廟への訪問，海尾朝皇宮管理委員会（飛虎將軍廟御一行）の来水等）
- ・「北関東中核都市連携会議」（水戸市，宇都宮市，前橋市，高崎市）の4市連携による，各市在住台湾人による市内取材及びパンフレット作成
- ・海外 web サイトへの記事掲載等
  - ・ラーチーゴー（台湾）への記事掲載
  - ・JAPANiCAN への特集ページ掲載
  - ・コンフォンTVへのバナー広告掲載 等

#### 4 その他